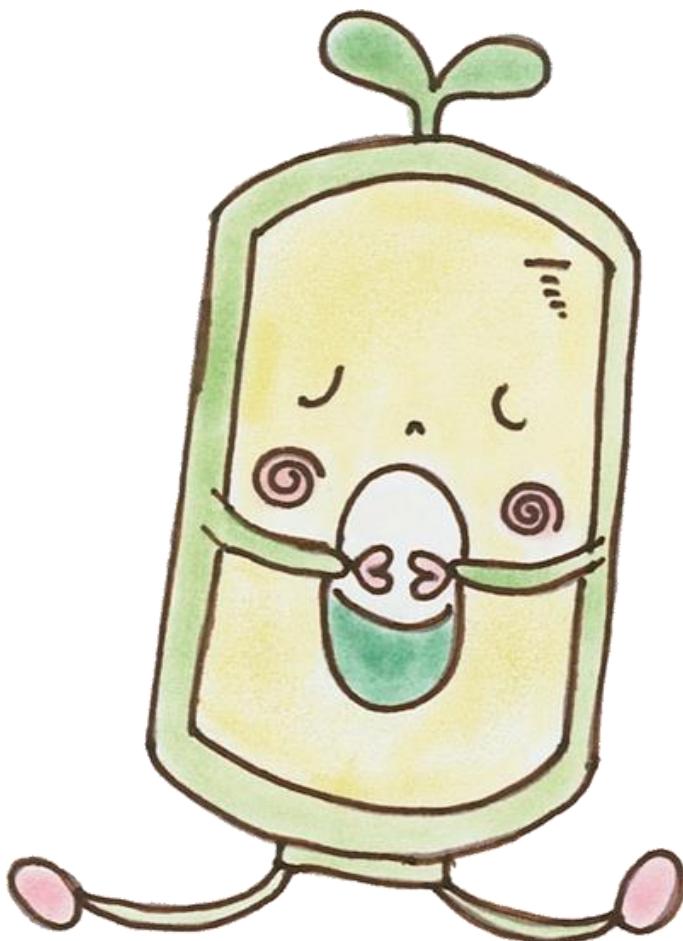


# がん薬物療法を 受けられる患者様へ



兵庫医科大学病院

外来化学療法室

2025.8改訂

# はじめに



入院での化学療法治療お疲れ様でした。

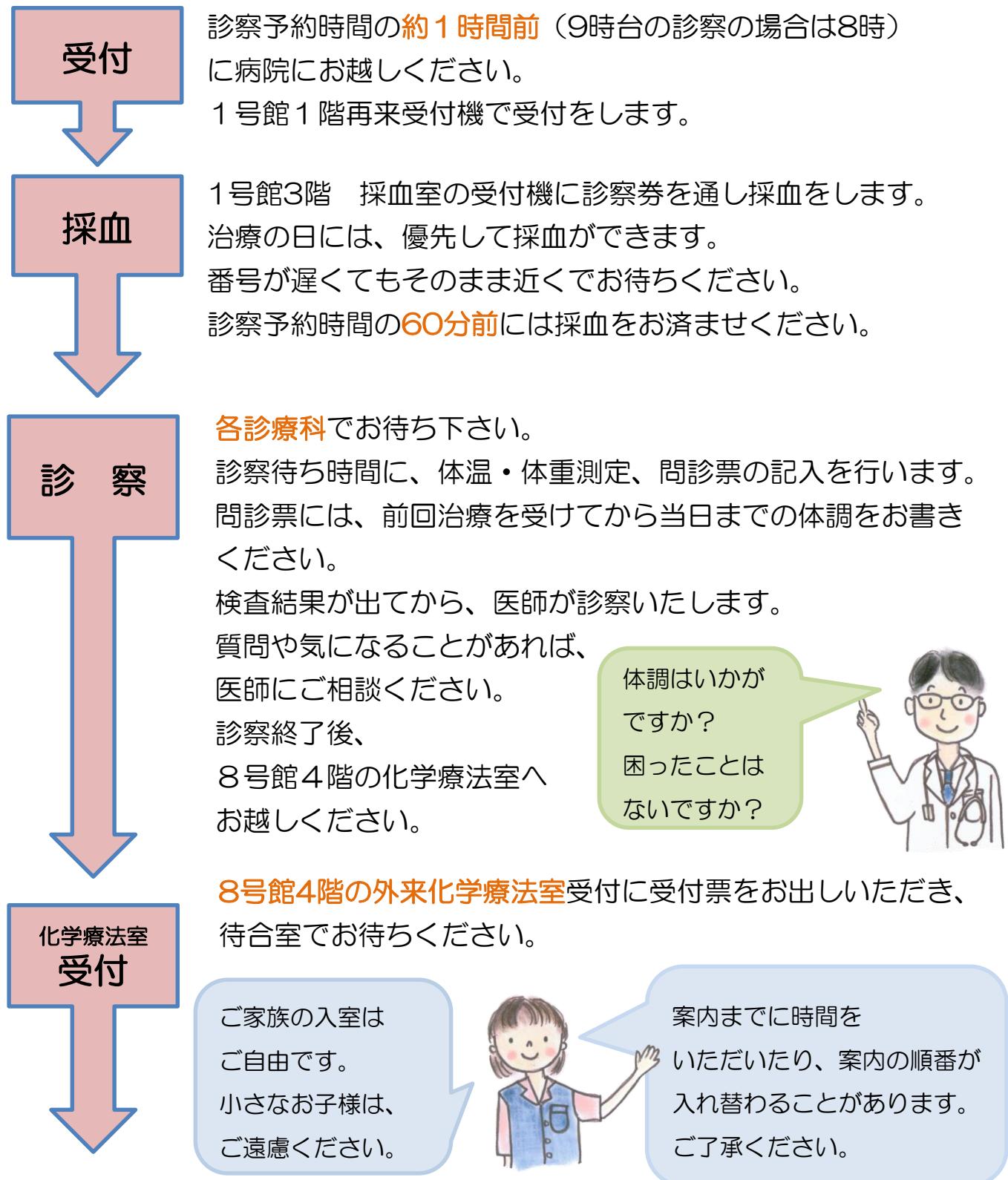
外来で化学療法を受け、すぐにご自宅に帰ることに不安を感じる患者様もおられると思います。

しかし、今までの生活環境の中でご家族や友人と過ごすことが、なによりも患者様のお力となることと思います。

心配事や不安が少しでも軽減し、安心して外来での化学療法を受けていただけるように、医師・看護師・薬剤師などスタッフが協力して、ご支援させていただきたいと思います。



# 外来化学療法当日のスケジュール



## 化学療法室 案内

お荷物はロッカーをご利用ください。  
お席に座られてからも、約20分ほどお待ちいただ  
ことがあります。  
薬剤師・看護師が治療の準備をしています。



## 治 療

患者様のお名前・薬の内容・順番と一緒に確認し、  
治療を開始します。看護師が治療に伴う症状や、  
日常生活についてお話を伺います。  
初めて来られる日や薬剤の変更時には、薬剤師が  
薬の説明を行います。  
点滴中は、化学療法室内でお過ごしください。  
トイレは化学療法室内にあります。



テレビを貸し出せます。  
イヤホンをお持ちくだ  
さい。



室内は飲食可能です。  
あらかじめ、お食事・飲み物  
内服薬などをご準備ください。

点滴しているところが痛い・気分が悪い・かゆみが出るなどの症状が  
あれば、お伝えください。

## 治療終了

点滴の針を抜いて、止血を確認し治療終了となります。  
お預かりしていた受付表をお返しします。

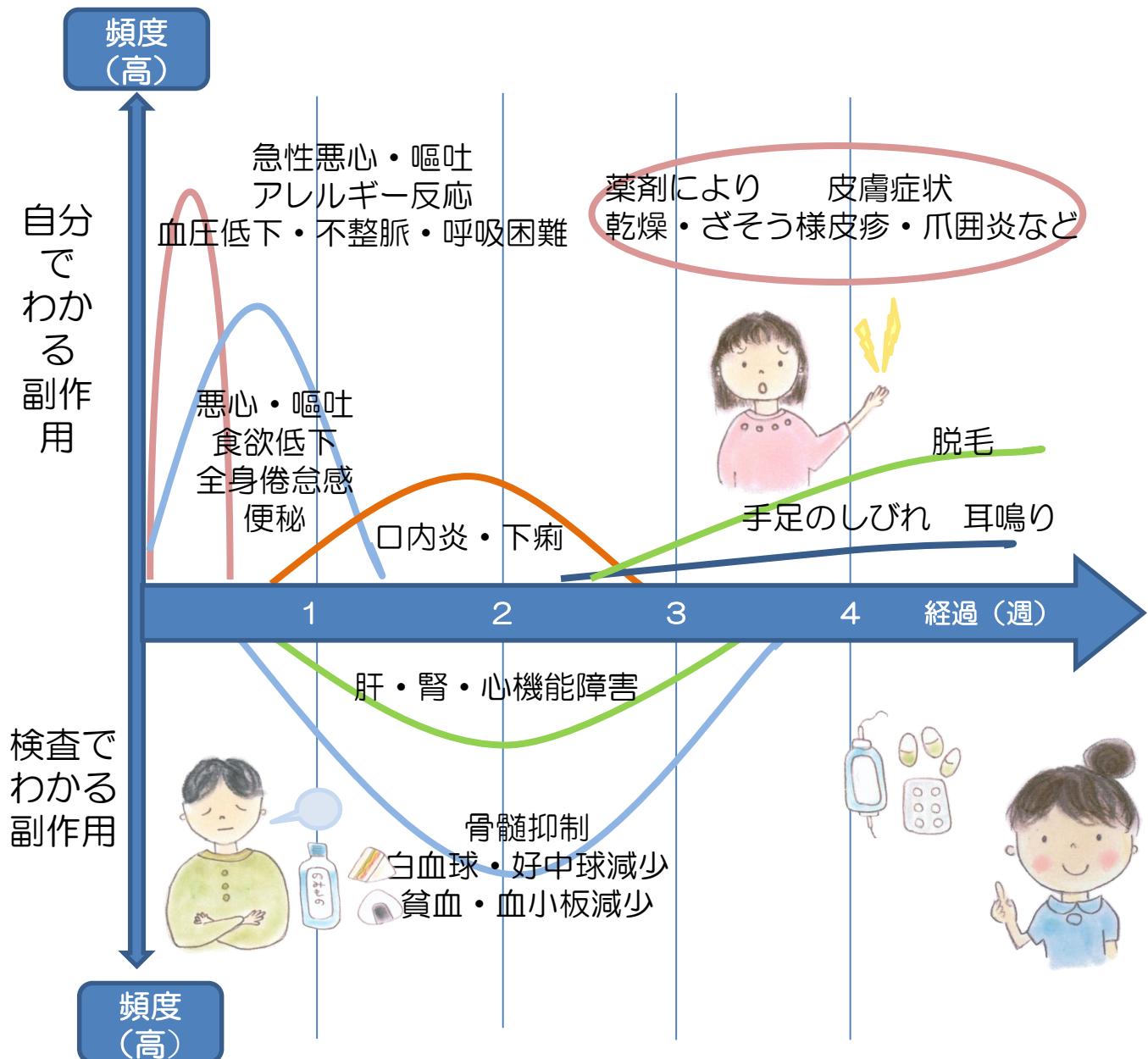
## 会 計

16:45までは、1号館1階の会計カウンター  
16:45以降は、10号館1階、入退院受付へ受付票を  
提出してください。  
内服処方箋は院外薬局にお持ちください。

# 抗がん薬の副作用と発現時期

疾患によって使用する薬剤が異なるため、副作用の種類・程度・時期は違います。

ご自分の治療・副作用の時期・程度に合わせて、無理なく日常の生活が送れるように工夫してください。



## 骨髄への影響（白血球減少）

抗がん剤の影響で白血球の数が減少します。

減少の程度によっては、抵抗力が弱くなり、風邪をひきやすくなったり小さな傷でも感染症をおこすことがあります。

白血球が低下した時は、白血球を増やす注射、抗生物質（注射または内服）を使用することがあります。



### 生活の注意と工夫

- 外出後や食事前には手洗い・うがいを行いましょう。
- 人ごみを避けマスクをしましょう。
- インフルエンザ・風邪・腸炎など感染症の疑いのある人の接触は避けましょう。
- 医師の指示や体調が悪くなれば入浴しましょう。  
また、排泄後の洗浄など身体の清潔を心がけましょう。
- 生ものは、きちんと管理された新鮮なものであれば、  
食べていただいて構いません。  
特に、注意が必要とされている場合や心配な方は医師に  
相談してください。
- 医師から許可された以外のワクチンは受けないように  
しましょう。

# 骨髄への影響（赤血球減少）

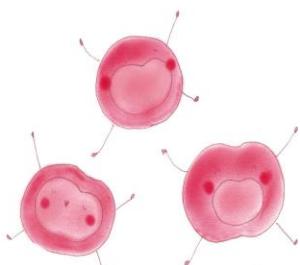
赤血球が減少すると貧血という状態になります。

赤血球は、酸素を運ぶ役割があり赤血球が減少すると酸素を運ぶ量が少なくなり酸素不足になります。この状態が続くと、どうき・息切れがする、顔色が青白い、疲れやすくなる感じがするといった自覚症状を感じるようになります。



## 生活の注意と工夫

- 急に体を動かすことでふらつきや立ちくらみ・どうきなどが起こりやすくなります。  
立ち上がるときにはゆっくりと立ち上がりましょう。
- ふらつきや立ちくらみが起きたときは、その場に座る、壁など安定した物につかまるなどして転倒しないようにしましょう。
- 活動はご自分のペースで休みながら行いましょう。
- 十分な休養・睡眠をとり、無理をしないようにしましょう。

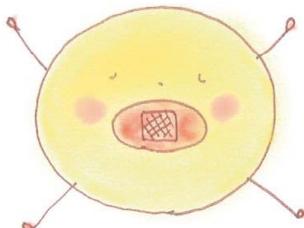


## 骨髄への影響（血小板減少）

出血を止める作用がある血小板が減少すると、出血しやすかったり、出血が止まりにくくなることがあります。

### 生活の注意と工夫

- 強く鼻をかまない、歯ブラシは毛先の柔らかいものを選びましょう。
- 家事や運動時に強くぶつけたり、刃物等で怪我をしないように気をつけましょう。
- 入浴や着替え時に体をチェックし、皮下出血（青あざ）や点状出血（赤い細かな点々）がないか確認しましょう



# 嘔気・嘔吐・食欲不振・味覚嗅覚障害

抗がん剤投与当日から数日後より嘔気、食欲不振、味覚嗅覚障害が出現します。嘔気は、数日間続くこともあります。抗がん薬投与時、制吐剤を使用することで、予防します。また、味覚が変化したり、においが気になることがあります。



## 生活の注意と工夫

### ●吐気が続く・食事がとりにくい

少し味の濃い物や、麺類・ゼリー・プリン等のど越しの良いものは食べやすいようです。栄養補助食品の利用も良いでしょう。脱水予防のため、スポーツドリンク等で水分を補給しましょう。

### ●塩味、醤油味などが苦く感じる、金属味がする

塩味を控え、出し汁をきかせる。胡麻・柚子などの香りを効かせる。酢を利用する等の味付けを試してみましょう。

### ●甘みを強く感じる

砂糖・みりん等甘味料を控える。塩味・醤油味・味噌味を少し濃くする。

酢の物・柑橘系の果物（レモン・ゆず）などを活用しましょう。

### ●味を感じにくい

果物・酢の物・汁物を献立に加えてみましょう。味付けを少し濃くしてみるのもよいでしょう。熱すぎるもの・冷たいものは味を感じないので、温度を工夫してみましょう。

### ●苦く感じる

口の中が苦く感じる時にキャラメル・飴を食べてみましょう。

# 口腔粘膜障害

抗がん剤の口腔粘膜に対する副作用による場合と、白血球減少に伴う口腔内の感染による場合があります。

## 生活の注意と工夫

- 1日1回は口の中を観察しましょう。
- 歯磨きは、毛先が柔らかく小さめの歯ブラシを使って、毎食後・就寝前に磨きましょう。
- 歯磨きをするときには舌も一緒にきれいにしましょう。舌の汚れをとるには、スポンジブラシや舌ブラシなど使用するのも良いでしょう。
- 歯ブラシは使用後、水気をきって十分乾燥させ細菌の繁殖を避けましょう。
- 豚毛の歯ブラシは、乾燥しにくいので避けてください。
- 口の中を清潔にし、乾燥させないため、うがいや保湿剤の使用をするのも良いでしょう。
- 酸味の強いもの・香辛料の強いもの・熱い食事はしみたり、痛みを感じたり、口の中を刺激しますので、避けるほうが良いでしょう。



## 下痢・便秘

抗がん剤により腸管の運動が活発になったり、腸管粘膜が障害されて起こる下痢と抗がん剤が末梢神経や自律神経の働きを障害することで腸管の運動が抑えられる便秘があります。

### 生活の注意と工夫

(便秘時)

- 便通の状況が普段と比べてどうか確認しましょう。
- 起床時に水を飲む、制限がなければ纖維質の多い食品を摂る、お腹のマッサージをする、軽い散歩をするなど、一般的な排便促進方法を試みましょう。
- 緩下剤の量は、お腹の調子に合わせて調節しましょう。

(下痢時)

- 冷たすぎないスポーツ飲料やお茶などをとり水分を充分に補給しましょう。
- 下痢止めの量は、おなかの調子に合わせて調節しましょう。
- 食事は無理せず、消化のよいものを食べましょう。
- 纖維質の多い食品や刺激物・アルコール・脂肪分の多いものは控えましょう。
- 下痢により肛門周囲の皮膚がただれることがあります。排泄後の洗浄や、お湯で拭きとった後、保湿剤等で皮膚を保護しましょう。

# 末梢神経障害

抗がん剤によって神経細胞が障害されることがあります。

しびれで物がつかみにくい、歩きにくいことや、舌や口のしびれなど、感覚がおかしくなったりすることがあります。

しびれた感じがなくなるまで時間がかかりますが、通常はお薬の使用が終われば、症状が軽減されます。しびれの症状によっては、お薬を処方します。



## 生活の注意と工夫

- 指のしびれや感覚が鈍くなると、物を落としたり刃物で怪我をする恐れがあります。また、熱い・冷たいものなど温度が分かりにくいので、やけどに注意しましょう。



- 足のしびれや感覚が鈍くなると、つまずきやすく転倒の危険が増えます。小さな段差に気を付けましょう。履物は歩行時に脱げてしまわないものを選びましょう。

- 「オキサリプラチン」（エルプラット）というお薬は、冷たい空気にさらされたり、冷たい物に触れると症状が強く出る場合があります。身体を外から冷やさないことや、冷たい飲み物で内側から冷やさないように気をつけましょう。

# 脱毛

毛根細胞の障害により引き起こされることがあります。

お薬の種類によって、眉毛、まつ毛、体毛まで抜ける場合がありますが、治療が終了すれば、おおよそ3~6か月後に生えてきます。

## 生活の注意と工夫



- 髪は短くしておく方が脱毛による精神的ダメージは少なく、抜け毛の処理が簡単です。
- シャンプーは低刺激のものを使用し、頭皮を傷つけないよう爪を立てず洗いましょう。
- 「髪が抜けるから」と洗髪を避けないで清潔にしておきましょう。
- 帽子やバンダナは外見の変化を補うだけでなく、日光から頭皮を保護する役目もあります。外出時に使用すると良いでしょう。
- かつらは、美容院や百貨店などにより個室で対応してくれるところもあるようです。種類・値段もいろいろあるので、御自分の希望を整理し相談されると良いでしょう。

# 皮膚・爪の変化

抗がん剤により、皮膚や爪の新陳代謝を行う細胞がダメージを受けます。皮膚や爪を、お手入れすることで症状が緩和されます。

- 皮膚に、発疹やかゆみ、乾燥、にきびのような吹き出もの、色素沈着が出てくることがあります。
- 爪が、変色、変形することがあります。爪の周囲に痛みがあったり、赤く腫れたりすることがあります。また、進行すると膿（うみ）がたまります。
- 薬剤の種類により、手足症候群という手のひらや足底の痛み、皮がむけるなどの症状が出てくることがあります。

## 生活の注意と工夫



- 皮膚を清潔に保つ**：皮膚に刺激の少ない石けん、ぬるま湯を使用し、皮膚に負担をかけないように、入浴やシャワーで体を清潔にしましょう。
- 皮膚に潤いを与える**：入浴後や、皮膚が荒れた場合、保湿剤を塗り乾燥を防ぐようにしましょう。
- 刺激をさけて皮膚を守る**：紫外線により、皮膚症状が悪化することがあります。外出時は日焼け防止の服装や、日焼け止めを塗りましょう。
- 爪の手入れ**：短く切り整えましょう。マニュキュアのベースコートなどを塗って保護するのも良いでしょう。

# 倦怠感

「だるい」「疲れやすい」「気力がない」「集中力がない」「体が重い」など倦怠感を表す言葉は、たくさんあります。倦怠感の原因は、がんそのものに関連するものや、貧血、不眠、食事や水分量の低下など、さまざまです。

## 生活の注意と工夫

- どんなときに倦怠感が増強するのかを知り、優先順位をつけて活動しましょう。倦怠感があるときは、無理せず休息をとりましょう。
- 水分摂取を意識しましょう。  
脱水になると倦怠感が増すことがあります。
- 睡眠を十分にとりましょう。
- 気分転換やリラックス方法を取り入れましょう。
- 倦怠感の影響で、日常生活のどのようなことに支障があるのかを、家族や周りの人に伝えましょう。  
家事や仕事などを手伝ってもらうことも、時には必要です。



## 腎機能への影響

定期的な血液や尿の検査で確認します。

尿量が減る、尿が赤みを帯びる等の症状が認められた場合は、ただちにお知らせ下さい。  
腎障害を防ぐために、日頃から水分摂取を意識しましょう。



## 肝機能への影響

定期的な血液検査で確認します。

肝機能の低下により、体がだるくなったり、皮膚や眼球が黄色くなったりすることがあります。

## 心機能への影響

動悸、息切れ、不整脈などの症状があれば、お知らせください。

必要に応じて、心電図やエコー検査をします。

## 肺機能への影響

息切れがする、咳、痰などの症状、発熱などの症状があれば、お知らせください。必要に応じて、血液検査、レントゲンやCT検査をします。

＜間質性肺炎＞痰の出ない空咳や微熱が続く、少し動くだけで息切れがするなどの症状があれば、お知らせください。

## 性機能への影響

性欲は、食欲・睡眠欲と共に人間の生理的欲求の1つです。

がんの治療を行うにあたり、性活動の相談をするのは、羞恥心でなかなか難しい問題かもしれません。

パートナーの理解と支えが必要です。

気持ちを伝え、話し合うことにより、お互いの理解が深まることが大切です。

### 治療の影響による性機能障害の原因

- 身体的変化：人工肛門、脱毛、手術による体形変化
- 精神的変化：ストレス、不安、うつ状態
- 薬剤によるもの：一部の抗がん剤、精神神経用薬、ホルモン薬など

不安なことや疑問点があれば遠慮なく医療者へご相談ください。



# 抗がん薬の影響と配慮と対応

抗がん薬投与後、おおよそ48時間は体内に残り、排泄物や吐物に混じっている可能性があります。ご本人や家族が、わずかな配慮を行うことで、まわりの人への不要な曝露（体内へ取り込まれること）を防ぐことができます。



## 生活の注意と工夫

- 内服抗がん薬は、できるだけご自身で内服しましょう。他の人が取り扱うときは、薬に直接手を触れないようにするか、手袋を使用しましょう。
- 排泄時は、トイレの水は、便座の蓋をしてから2回流しましょう。男性は、尿の飛散を防ぐため座って排尿しましょう。
- 排泄物（便・尿）、嘔吐物を家族が処理するときは、手袋をして、2重にしたビニール袋に入れて、普通ゴミに出しましょう。
- 排泄物や吐物の付着した衣類を洗濯物するときは、他の洗濯物と分けて2度洗いしましょう。
- 持続静脈注射ポンプを使用されている方は、抜針した後、付属のジッパー付きビニール袋へ入れ、さらにビニール袋に入れて、病院にお持ちください。
- 抗がん薬を取り扱った後や、排泄物、吐物を処理した後は、石鹼と流水でよく手を洗いましょう。



# 高血圧

抗がん薬によっては高血圧になることがあります。

治療前から普段の血圧の値を把握しておく必要があります。

## 生活の注意と工夫

- 1日2回は血圧測定し記録しましょう。  
記録したものは診察時に医師や看護師等にみせて下さい。  
必要時、降圧薬を飲みながら治療を継続していきます。
- 減塩を中心とした食事（厚生労働省が推奨する食塩摂取量の目標値は男性9g/日未満、女性7.5g/日未満）、適度な運動、禁煙を心がけて下さい。
- 普段の血圧で急激または著しい血圧上昇(180mmHg/120mmHg)があった場合、また頭痛・意識レベルの変化・片麻痺・嘔吐などの症状が出現した時は必ず連絡して下さい。



# タンパク尿

抗がん薬の種類によっては、尿にタンパクがでてくることがあります。多くは無症状であるが、重症化すると、ネフローゼ症候群（尿にたくさんタンパクが出てしまうために血液中のタンパクが減り、その結果、むくみが起こる疾患。高度になると肺やお腹、心臓などに水がたまつてくる。）を引き起こす場合があるため、症状の早期発見のために定期的な尿検査を行います。



## 生活の注意と工夫

- 尿量や尿の回数に変化がないか確認しましょう。  
12時間以上排尿がない、尿量が非常に少ない場合は医師や看護師等に報告して下さい。
- むくみや日々の血圧に変動がないか確認しましょう。
- 尿検査でタンパク尿がでた場合、腎臓に負担をかけないようタンパク質・塩分を控えめにした食事を心がけましょう。  
また、風邪などでも腎臓に負担がかかるので、感染予防にも心がけましょう。

# 外来化学療法室 Q&A



点滴治療中、気を付けることはありますか？

点滴注射部位周辺に、痛みや不快感・違和感があるとき、点滴が落ちていないなど、気が付いたことがあれば、すぐにお知らせください。



治療中、アレルギー症状が起きることがあります。

「いつもと違う」と感じることがあれば、すぐにお知らせください。

例えば、かゆみ・息苦しさ・顔がほてる・吐き気がする・汗が出る・発疹ができるなどはアレルギーの可能性があります。



車で来ても良いですか？



アルコールが含まれる薬や、アレルギーを抑える薬は眠くなるものがあるため、ご自身で車・バイク・自転車の運転が、できない場合があります。

主治医にご確認ください。



治療費はどのくらいですか？



治療の内容、負担割合などによって異なりますので、会計カウンターでご確認ください。

携帯電話は使えますか？



使用できますが、マナーモードに設定し、室内での通話はご遠慮ください。通話される際は、携帯電話通話コーナーでお願いします。また、充電のためのコンセントの使用はできませんのでご了承ください。



化学療法中に、食事や運動で気を付けることはありますか？



基本的に制限はありません。副作用や病状によって、食事や運動に制限がある場合があります。主治医に相談しましょう。



旅行に行っても良いですか？



可能です。治療日程の調整が必要な場合がありますので、主治医に相談しましょう。



# 血液検査の見方・考え方

	検査項目	正常値	検査でわかること
血液一般	WBC	$4.0 \sim 9.0 \times 10^3/\mu\text{l}$	白血球数 病原体の侵入から体を防御したり、免疫性を作る役割をする 抗がん剤の副作用（骨髄抑制）で低下する事がある
	Seg	$38.0 \sim 58.0 \%$	白血球の中の好中球（病原体に対する抵抗力）の値を計算できる
	RBC	$38.0 \sim 50.0 \times 10^6/\mu\text{l}$	赤血球数 肺から体の隅々の細胞に酸素を送り、炭酸ガスを運び出す役割をする 抗がん剤の副作用で低下する事がある
	HGB	$11.5 \sim 15.0 \text{ g / dl}$	赤血球の中の鉄と蛋白が結合した色素 酸素を運ぶ役割をする
	PLT	$150 \sim 350 \times 10^3/\mu\text{l}$	出血したときに血液を固めて出血を止める役割をする 抗がん剤の副作用で低下する事がある
肝胆膵	T-Bil	$0.2 \sim 1.2 \text{ mg / dl}$	総ビリルビン 肝臓・胆道系の障害で上昇 黄疸の種類がわかる
	AST	$13 \sim 33 \text{ U / l}$	肝臓・心臓・腎臓・筋肉などに分布し、これらの障害で高くなる
	ALT	$6 \sim 27 \text{ U / l}$	主に肝臓に含まれている酵素で、肝細胞が破壊されると高くなる
	LDH	$119 \sim 229 \text{ U / l}$	肝細胞障害時に上昇 血管・心筋・筋・悪性疾患でも高くなる
	$\gamma$ -GTP	$4 \sim 46 \text{ U / l}$	アルコール・脂肪などの過剰摂取で高くなる
	ALP	$115 \sim 359 \text{ U / l}$	胆道系の閉塞や狭窄で上昇する
	AMY	$33 \sim 120 \text{ U / l}$	アミラーゼ 膵臓が炎症を起こすと高くなる
腎機能	UN	$8 \sim 20 \text{ mg / dl}$	尿素窒素 腎臓の機能を示し、障害があると高くなる
	CRE	$0.36 \sim 1.06 \text{ mg / dl}$	クレアチニン 腎臓の排出機能障害があると高くなる
電解質	Na	$138 \sim 146 \text{ mmol/l}$	ナトリウム 体内の水分量のバランスを反映する
	K	$3.6 \sim 4.9 \text{ mmol/l}$	カリウム 体内の水分量のバランスを反映する
	CL	$99 \sim 109 \text{ mmol/l}$	クロール 体内の水分量のバランスを反映する
	Mg	$1.9 \sim 2.5 \text{ mg/dl}$	マグネシウム 体内の水分量のバランスを反映する
その他	TP	$6.6 \sim 8.7 \text{ g / dl}$	総タンパク 栄養状態を表す
	CRP	$0.3 \text{ mg / dl}$ 以下	炎症がある時や組織が破壊されたときに高くなる

# がんセンター 薬剤部

薬剤師も患者さんの薬物治療に関わり、できる限りの支援を行ないます。

## お薬の確認

患者さんに安全に抗がん薬の治療を受けていただくために、

- ☆血液検査の値やカルテの情報の確認
- ☆医師が処方した抗がん薬の処方内容の確認
- ☆処方漏れの確認

など

を行って、陰ながら治療のサポートをしています。



## お薬の調製

患者さんを感染から守るために、

無菌的な環境で注射薬の混合を行っています。



## お薬の説明

外来化学療法室で初めて点滴される方や

お薬が変更になった方にお薬の説明を行ないます。

- ❖ 抗がん薬を投与する前後に何本か点滴があることがあります。  
これらの点滴にもそれぞれ意味があります。

吐き気止め

アレルギー予防

血管痛予防

腎障害予防

など

副作用は抗がん薬の種類や患者さんによって様々ですが、

副作用を軽減するために、お薬に応じた支持療法を行っています。

それでも、吐気がひどい、お通じがよくない、痛みが治まらないなど困っていることがありましたら、スタッフにお声をかけてください。

お薬について聞きたいことや、  
相談したいことがある場合は、お気軽にご相談ください。



# がん相談支援センター がん診療支援室



一人で悩んでいませんか？一緒に考え方問題解決のお手伝いをします。

## 検査・治療・副作用

- 自分のがんや治療について詳しく知りたい。
- 担当医から提案された以外の治療法はないのか知りたい。
- セカンドオピニオンって？

## 医療者とのコミュニケーション

- 担当医の説明が難しい。
- 医師に自分の疑問や希望をうまく伝えられない。
- 何を聞けばよいのか分からぬ。

## 療養生活の過ごし方

- 治療の副作用や合併症と上手に付き合いたい。
- 自宅で療養したい。

## 経済的負担や支援について

- 活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい。
- 介護保険について知りたい。
- 仕事や育児・家事のことで困っている。



## 家族との関わり

- 家族にどう話していくかわからない。
- 家族の悩みも相談したい。

## がんの予防や検診について

- がん検診で再検査の通知が来て、不安でたまらない。
- がん検診の申し込みはいつ？どこで？

## 社会とのかかわり

- 病気について、職場や学校にどのように伝えればよいか。
- 仕事を続けながらの治療はできるか。

## 心のこと

- 気持ちが落ち込んでつらい。
- 思いを聞いてもらいたい。
- 患者を支える家族もつらい。
- 。

## 緩和ケア

- 地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか。
- 治療を続けながら在宅緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか。

## ◆がん相談

相談受付	月～金曜日 10:00～15:00
対象	がん患者さんとご家族 ご遺族の方
相談方法	面談・電話でのご相談をいたします
相談場所	8号館4階 がんセンター内 がん相談支援センターがん診療支援室
電話番号	0798-45-6762 (がん診療支援室直通) *相談希望の方は、がんセンター内がん相談支援センターまでお声をお掛け下さい。 *プライバシーは厳守いたします。相談料は無料です。お気軽にご連絡ください。

- ◆がん治療生活を支える～仕事とお金のお悩み相談会～：月1回
- ◆乳がんおしゃべりサロン（女性疾患の患者さんとご家族）：月2回

がん情報コーナー：がんに関する冊子・パンフレットの展示、配布。図書の閲覧・貸出。  
アピアランスの展示（ウィッグ、補整下着、人工乳房等）をしています。

☆詳しくはがん情報コーナーの案内をご覧ください。

# 医療社会福祉部

病気とともに生活していくなかで、ご心配なことやお困りのことはありますか？医療社会福祉部では、ソーシャルワーカーが皆様のご相談をお受けしています。

## ☆ソーシャルワーカーって？

社会福祉の立場から、病気に伴って起こってくる、生活上の様々な問題について相談をお受けする専門家です。

## ☆どんな相談にのってくれるの？

たとえば、

- ・医療費が支払えるか心配。
- ・保険や年金のことが知りたい。
- ・利用できる制度の申請手続きについて。
- ・介護や退院後の生活が不安。
- ・仕事や学校に戻れるか心配。
- ・病気や障害とともに生活していくか心配。

など、何でも気軽にご相談ください。

**☆相談ご希望の方は、スタッフまでお声かけください。**

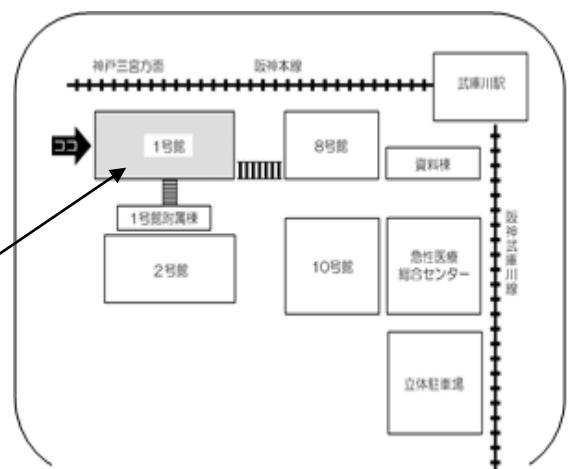
ご相談は無料です。事前申し込みは不要ですが、予約について  
は日程調整させていただきます。

## ★兵庫医科大学病院 医療社会福祉部★

1号館1階 [TEL : 0798-45-6137](tel:0798-45-6137)

＜相談受付＞平日：9時～16時

1号館1階 初診受付正面



## 体調不良時の連絡先

次のような症状が現れた場合は、  
予約日以外でも連絡し、受診しましょう。



- ・水分や食事がほとんど摂れない
- ・1日5回以上、水様の下痢が出る
- ・尿がほとんどでない
- ・37.5°C以上の発熱・咳・のどの痛み  
排尿時の痛みなどの症状が続く



### 診療時間内

月～金 8:30～16:45  
各診療科 0798-45-



### 診療時間外

病院代表電話 0798-45-6111

化学療法を受けている診療科をお伝えください。  
当直医が症状をうかがい対応します。